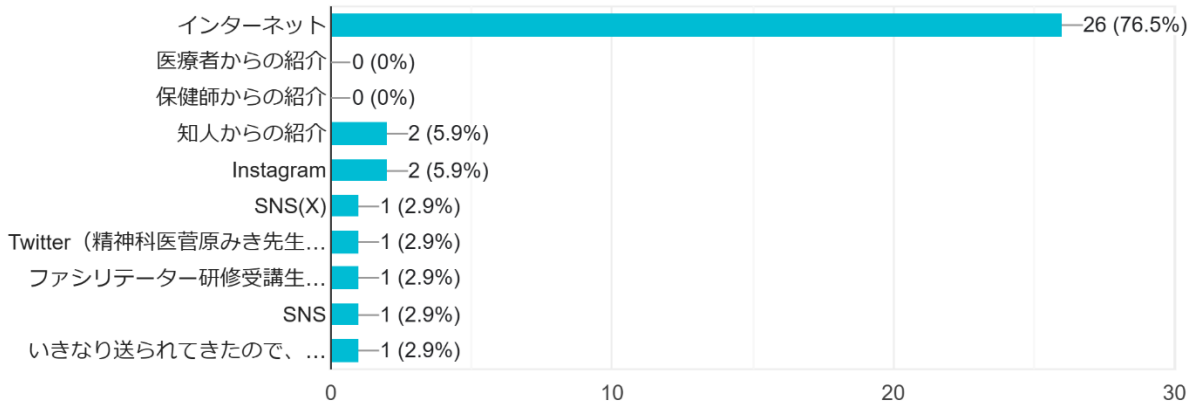


## 「12週未満の流産を体験された方へ」アンケート結果（2025年2月24日現在）

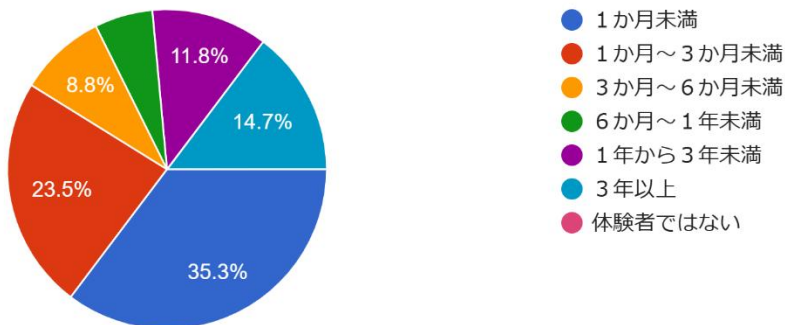
この冊子をどこでお知りになりましたか（複数回答可）

34件の回答



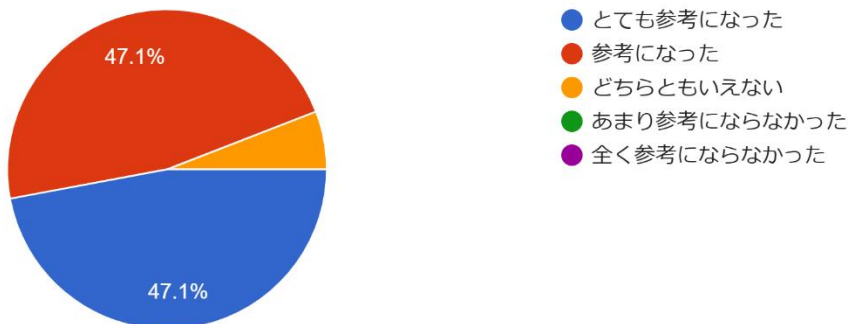
流産を経験されてからの時間経過

34件の回答



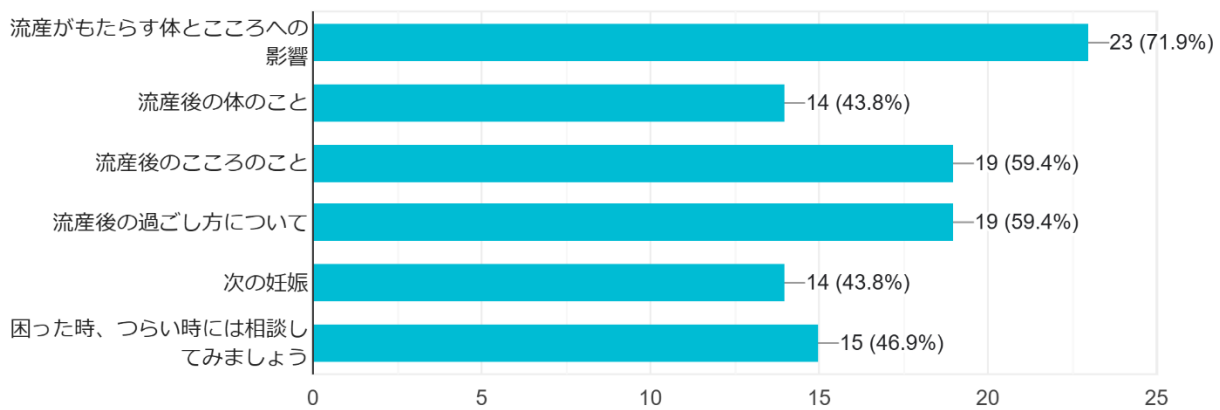
冊子を読んだご感想

34件の回答



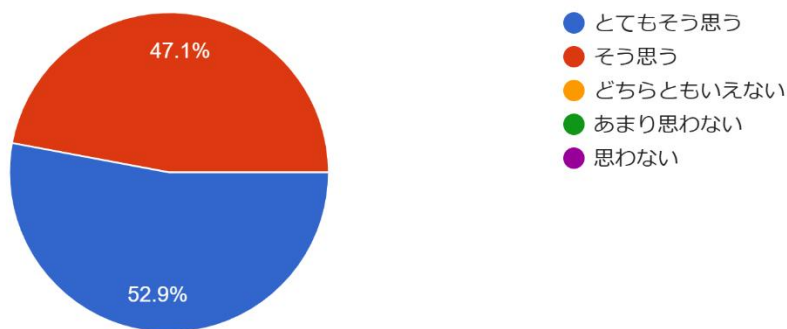
上記の設問で「参考になった」と回答されたかた...どの内容がご参考になりましたか（複数回答可）

32件の回答



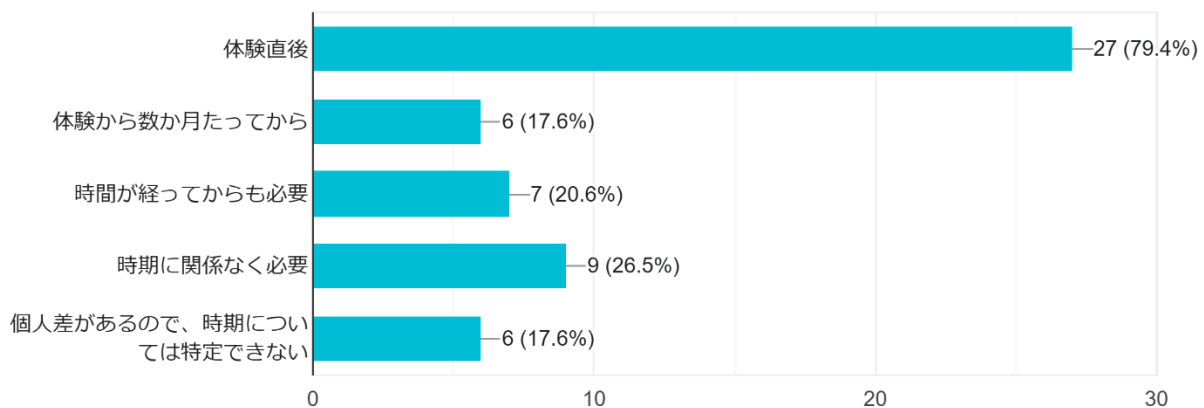
冊子を他の体験者に勧めたいと思いますか

34件の回答



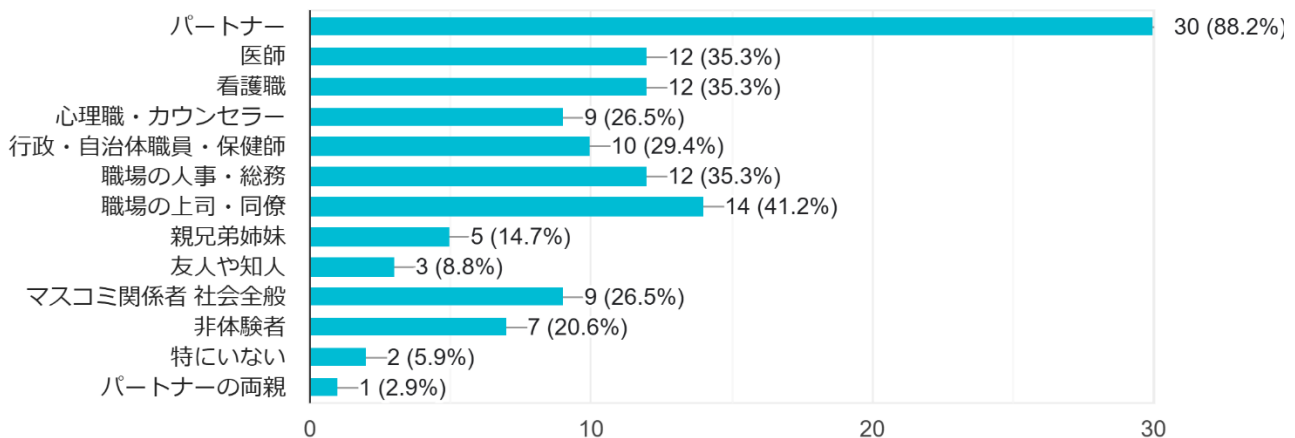
この冊子はどのような時期に必要なだと思いますか（複数回答可）

34件の回答



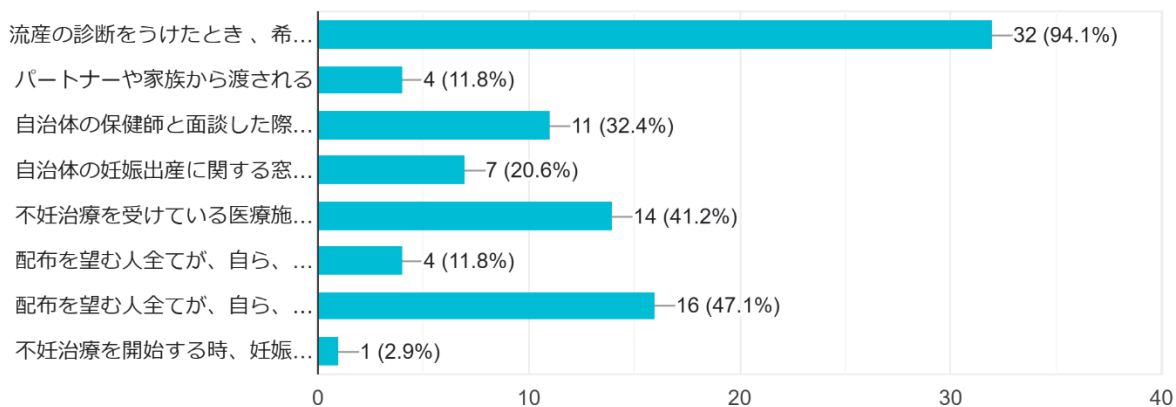
体験者以外で、この冊子を読んでほしい人（職種等）はありますか？（複数回答可）

34件の回答



この冊子はどのように配布されたら（入手できたら）良いと思いますか？（複数回答可）

34件の回答



**ご自身の流産体験について、社会に伝えたいことなどありましたら、以下にご記入ください。**

（回答の一部を掲載）

会社には有給を利用し1週間ほどお休みをもらいました。復帰する数日前に上司へ伝えたあと、この冊子をいただきました。お勤めしているかたは、周りの理解が助けになります。そつと後押ししてくれるのか社会になればよいなと思います。

流産宣告後に頼れる場所が社会には少ないと思いました。もっと気軽に相談できる場所がほしいです。妊娠発覚してからの休みを取りやすくしてほしいと常々思っています。また流産してからの休みの取り方も専用休暇があると、自分の体をいたわることができると思っています。

不妊治療を通し体外受精にて初めての妊娠後の流産で一番辛い時にこちらのウェブを見つけました。妊娠をする時には流産死産の可能性がある中自分は大丈夫だろうと思ってしまっていたのもあり、自ら経験し世の中には見えない所で同じ体験をされた人がたくさんいる事に気付きました。体験したから辿り着く場所ではなく、全ての人がアクセスできるような形で情報に触れ理解を深められる社会であると良いなと感じます。自分自身も経験を通しより優しさと寄り添いを持った人になれるように努めたいと思っています。

冊子を制作して下さりありがとうございます。このような冊子がない中で、冊子という役割はとても大切な媒体だと思っています。ネットに頼りがちですが、紙媒体はとてもこの死産当事者には大切なものだと思います。宣告された直後にこちらの冊子が当事者の手元に届けられるようになればいいなと思っています。将来は、経験者だけの一部の問題だけではなく、社会全体の誰でも知っていることとして認識が広がっていったらいいなと思います。

流産は妊娠を望めば誰にでも起こりうること。それなのに周りから「何かしたの?」「無理したの?」と言われてとても傷ついた。流産について間違った認識を持っている人が多過ぎる。そして珍しいことだと思っている人も多い。もっと社会全体が理解を広めるべきだし、タブー視されることではないと思う。経験者の気持ちに寄り添ってくれる社会になりますように。

12 週未満だと会社で休める制度がなく、困った。

日本人、特に男性は、妊娠したら必ず無事に健康な赤ちゃんが産まれてくると思っている人が多い気がします。身近に流産や死産を経験した方や、重度の障害を持って産まれた方(障害については今回の話からは脱線しているかも)などがいない人ほど、そのような傾向にあるのではないのでしょうか。そのような考えの人たちに現実を知ってもらいたいです。

妊娠は 1 人では出来ない為、パートナーへの制度も配慮して欲しいです。